

令和
4年度

川俣町の わかりやすい予算

認定こども園開設へ向けて



小中学校給食費の
無償化



介護タクシー利用
助成事業



前田遺跡の国史跡
指定への取り組み

【内容】

主要な事業の説明

令和4年度予算の説明

町では、年度の主な事業や特色ある事業について、写真と簡単な数字で、町民の皆さまにご覧いただけるよう毎年『川俣町のわかりやすい予算』を作成しております。

今年度は、小学校再編1年目として、小中学校の給食無償化を開始するほか、令和5年4月スタートに向けた認定こども園開園に係る施設整備など、子育てや教育環境の整備を最優先に予算配分をしました。また、新型コロナウイルス感染症の長期化により大きく変化した町民の皆さまの生活に寄り添えるように、「介護支援タクシー助成」など既存のサービスの拡充や自治体DXを取り入れた新しい行政サービスの構築にも積極的に取り組めます。

さらには、観光や移住定住などの情報発信や、防災力の強化など、これからの総合的な町づくりに向けての基盤となる事業を多く実施しておりますので、その取り組みをご覧ください。

令和4年5月

川俣町長 藤原 一二

—目 次—

令和4年度の重点事業	2～ 7
令和4年度の主な事業	8～19
基礎知識 ～予算とは～	20～22
歳入・歳出	23～25

子育て、教育環境の向上を目

町内の川俣幼稚園、川俣南幼稚園、富田幼稚園、福田幼稚園、すみよし保育園の5園の幼児施設を再編し、新たに（仮称）かわまた認定こども園を令和5年4月から開園する予定です。園舎は令和4年3月をもって閉校となった旧川俣南小学校の校舎を大規模改修して使用します。

各フロアは、未就学児の目線の高さや身長にあわせて、安全で清潔に活動できるよう配慮を行います。内観は、もともとの設計の良さを生かして、見た目も木目調で暖かみがあり、かつ機織りなど町の文化を感じさせる造りとなっています。

また、施設内には子育て支援センターを併設し、子どもの成長から子育ての悩みまで幅広く支援できる体制を整え、町の子育て支援の拠点施設としての活躍が期待されます。



2階から築山に延びたスロープが特徴となっています。緊急時の避難経路としても利用できます。

機織り機の箒（おさ）をイメージした造りになっています。安全対策もしっかりしています。



木目調のクッションフロア。裸足でも冷たさを感じにくく、歩きやすい床です。

小学校再編から始まる、教育体制の充実への取り組み

令和4年4月から町内の5つの小学校を再編して新たに「川俣小学校」が誕生しました。町ではGIGAスクールや外国語教育など特色のある教育の充実や、保護者の経済的負担の軽減、地域とのつながりの継続など様々な面から支援を行います。

給食の無償化

（担当：学校教育課）
事業費 4,402 万円

新規

令和4年度より、小中学校における給食費を完全無償化しています。保護者の経済的負担を少なくするとともに、地元食材を使用した安全な給食を提供することで、子どもたちの「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」を育てます。



スクールバスの運行

（担当：学校教育課）
事業費 6,890 万 6 千円

拡充

各地区から通う子どものため、スクールバスを昨年の7台から13台に増台して、安心安全な登下校に努めます。



川俣小学校体育館の改修

（担当：学校教育課）
事業費 1 億 4,280 万円

新規

校舎、プールに続いて、今年度は体育館を改修し、子どもが活動しやすい環境を整えます。



指します！

認定こども園開設事業費

(担当：子育て支援課)

事業費総額 9億344万6千円

【内訳】

旧川俣南小学校校舎改修費用・・・8億8,200万2千円
厨房器具・・・・・・・・・・・・・・・・530万7千円
備品の購入・・・・・・・・・・・・・・1,395万7千円
引っ越し費用・・・・・・・・・・・・・・150万円
閉園にかかる費用・・・・・・・・・・・・50万1千円
その他・・・・・・・・・・・・・・・・・17万9千円

【工事内容】

内部改修／外壁防水塗装／屋根改修／エレベーターの設置／電気設備工事／LED照明改修／機械設備工事／トイレ洋式化 ほか



認定こども園は、町と協定を締結した川俣町社会福祉協議会が運営します。

子育て支援施策の充実に向けて

子どもの生活状況実態調査事業

(担当：子育て支援課)

事業費 231万円

子育てに関する支援策を充実させ、効果的な取り組みを行うため、子どもの生活実態調査を行います。



知育絵本の配付

(担当：子育て支援課)

事業費 30万2千円

未就学のお子様へ配付している「知育絵本」です。実際にお子様のお名前が入ります。



スマホで簡単に申し込みで大好評。配付の対象となるお子様の健診受診時に絵本作成のためのチケットを配付しています。

新しい校歌が完成しました

(担当：学校教育課)

新たにスタートした川俣小学校に通う子どもたちのために作られた校歌をお披露目するため、作詞の和合亮一先生と作曲の新実徳英先生をお招きして会を開きます。



新規

GIGA スクールの強化

(担当：学校教育課)

これまでに構築してきた小中学校へのタブレット設置や学校間の通信体制の強化、家庭でのICTを活用した学習の推進などをいよいよ本格的に運用し、GIGAスクール構想を推進します。



・ICT支援員の設置
(事業費831万6千円)

・AIドリルの導入
(事業費124万8千円)

新規

地域とのつながり

(担当：学校教育課、子育て支援課)

子どもたちが地域とつながり、子どもたちを地域で育てていくために、地域学校協働本部事業を新規で立ち上げます。また「たのしい教室」も継続して各地域で実施します。

- ・地域学校協働本部事業
(事業費106万7千円)
- ・たのしい教室事業
(事業費1,154万5千円)



新規

公共施設マネジメント事業

(担当：財政課)

事業費 110万円

閉校となった校舎や今後閉園となる施設を中心に、既存の町有施設とあわせ総合的な利活用を検討します。



新規

2 魅力再発見！町民が誇れる

自然

里山を活用した観光資源の発信

川俣町には、花塚山をはじめ魅力的な里山たちがそれぞれの個性を発揮する機会を待っています。令和4年度は国の補助金などを活用して、これらの里山を活用して、町の魅力を発信します。

地域魅力向上・発信事業

(担当：政策推進課)

事業費 1,000 万円

モニターツアーや里山の映像を作成し、SNSを活用した情報発信を行うなど、里山ツアーリズムの構築を行います。



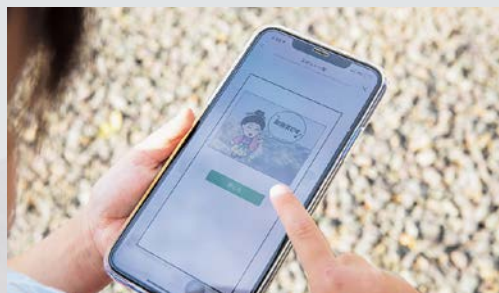
新規

里山観光事業

(担当：政策推進課)

事業費 238 万 2 千円

里山スタンプラリーを開催し、完走者全員や抽選で町の特産品をプレゼントします。



新規

里山ご当地ナンバー、 里山デザイン封筒の作成

(担当：町民税務課)

事業費 45 万円

里山PRのため、原動機付き自転車向けのナンバーを里山や小手姫様など町独自のデザインで作成します。デザインは町内の中学生・高校生から公募します。

また、役場窓口での証明書用封筒も新たなデザインのものを作成します。

川俣町

K111



新規

道の駅かわまたの魅力向上

(担当：政策推進課)

事業費 473 万円

道の駅かわまたの集客力を強化するため、約1か月に1回の頻度で季節のイベントを開催します。また、作曲家の古関裕而さんにちなんだ「エール」ポストを道の駅に設置します。



新規

「かわまた」を発信

前田遺跡の国史跡指定へ 向けた取り組み

(担当：生涯学習課)

事業費 366万4千円

新規

国道114号拡幅事業において福島県が実施した前田遺跡の発掘調査において、数々の歴史的な遺物、遺構が発見されました。これを受けて、町では、今後前田遺跡が国史跡の指定を受けるための取り組みを開始します。これから数年の調査を要しますが、令和4年度は遺跡の範囲確定のための試掘調査を行います。



漆塗り縄文土器



中央公民館リニューアル記念事業

(担当：生涯学習課)

事業費 722万7千円

新規

文化

中央公民館は現在耐震改修工事中で、町民の皆さまには大変ご不便をおかけしておりますが、工事は順調に進んでおり、今年の夏に完成予定となっております。



安全第一で工事中です。エレベーターができました。



できたての耐震ブレースのおかげで3月の震度5強の地震では無事でした。

町では、工事のしゅん工を記念して2つの「こけらおとし公演」を企画しています。誰が来るかは楽しみ。詳しくは後月発行の広報かわまたでお知らせします。

令和4年夏
世界一の講演会
(金メダリスト)



coming
soon

令和4年冬
笑いがとまらないステージ



ニーズに寄り添った行政サー

より手厚く

行政サービスの拡充

現在、町民の皆さまが抱える課題をもとに、既存のサービスの組み替えや拡充により、さらにニーズに沿った形で提供します。

介護支援タクシー助成事業

(担当：保健福祉課)

事業費 546万2千円

要介護認定を受けている方と介護者のタクシー利用を助成し、行先を問わず活動の範囲を広げます。



新規

重層的支援体制整備事業への準備

(担当：保健福祉課)

事業費 154万2千円

引きこもりなど、多分野にわたる支援を必要とする方に対して、包括的な支援体制を構築します。



若年層の健康対策

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の再開

(担当：保健福祉課)

事業費 839万2千円

小学6年生から高校1年生女子の子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨を再開します。



新規

新型コロナ対策

新型コロナワクチン接種事業

(担当：保健福祉課)

事業費 5,929万8千円

追加接種を中心に、ワクチン接種会場の設営や医療機関との連携を行います。



若者層への健康診査年齢の引き下げ

(担当：保健福祉課)

事業費 98万2千円

国民健康保険加入者の健康診査の受診年齢を現行の40歳から19歳に引き下げ、若者層の健康に対する意識の向上を図ります。



新規

新型コロナ陽性者の自宅療養支援

(担当：保健福祉課)

事業費 215万4千円

陽性者の自宅療養支援のため、パルスオキシメーターや衛生用品などの置配を行います。



新規

ビスを構築

ますます便利に

自治体 DX

行政サービスは、内容の拡充やデジタル化による利便性の向上を目指します。また、若年層の健康対策や感染症対策にもこれまで以上に積極的に取り組みます。

オンラインやデジタルを取り入れ、新しい時代に沿ったサービスを提供します。

住民票等のコンビニ交付

(担当：町民税務課)

事業費 169万7千円

マイナンバーカードを活用し、住民票及び印鑑証明をコンビニエンスストアで取得できるようになりました(4月から開始しています)。



QR を利用する納税方法の追加

(担当：町民税務課)

事業費 315万7千円

町税の納付書でQR払いを行うためシステム構築します。(全国统一規格)

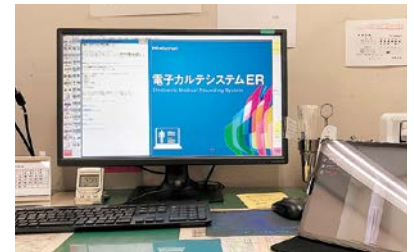


遠隔診療体制の構築

(担当：保健福祉課)

事業費 400万4千円

町内の医療機関において、タブレットやスマートフォンを利用した診療体制を構築します。



集団検診インターネット予約

(担当：保健福祉課)

事業費 95万円

集団検診(予約制)の予約をインターネットを通して行います。



高齢者スマホ講座

(担当：政策推進課)

事業費 59万4千円

ますます需要が高まるスマートフォンやコミュニケーションツールを幅広い世代の方に活用していただけるような講座を開催します。

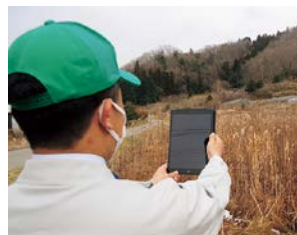


農業委員会タブレット導入

(担当：農業委員会)

事業費 77万円

農業委員等が、遊休農地等の確認を効率的に行うために、これまでの図面に替えてタブレットを導入します。



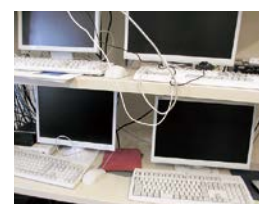
自治体 DX 推進計画の策定

(担当：政策推進課)

事業費 100万円

行政におけるDX推進に向けた計画の策定を行います。

※DX(ディー・エックス)とは、「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、IT技術を浸透させることにより、人々の生活をよりよいものに変革するという概念です。



令和4年度の主な事業をお知らせします。

令和4年度一般会計当初予算は総額で86億6,000万円で、昨年度より1億9,200万円、2.2%の減となりました。

巻頭カラーページでご紹介した重点事業のほかにも、町民サービスの向上やインフラ整備、防災力の強化など、安全で安心して暮らせるための基盤整備を重点的に行います。また、復興事業においても、仮置場の返還工事の加速化やとんやの郷の運営などに加え、人口増加を図るための移住・定住促進事業も重点的に実施します。

この表の見方

〇〇〇〇事業費（〇〇〇費）		新規・継続 拡充	
	担当課	総務課	
	事業費	8,000万円	
	財源	補助・基金・その他	2,000万円
		借金	4,500万円
		町	1,500万円
事業内容の説明が書かれています。			

令和4年度に要する事業費

国や県から入る補助金や基金（町の貯金）など

国や銀行等からの借入れ

皆さんからの税金など、町が自主的に調達できるお金



復旧・復興


定住人口や交流人口の増加や、工業団地、農作物、森林など多角的な視点から復興事業を実施しています。


また、山木屋地区の災害復興記録を作成します。




山木屋地区災害・復興記録の作成		新規	
	担当課	原子力災害対策課	
	事業費	500万円	
	財源	補助	—
		その他	—
	町	500万円	
山木屋地区の歴史や文化、震災当時や復興の様子を映像・写真で記録する。			

中山工業団地の拡張		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	1,901万5千円	
	財源	補助	—
		その他	1,901万5千円
	町	—	
中山工業団地敷地拡張のための測量設計の実施			

除染対策事業		継続		
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	6億6,835万4千円		
	財源	補助	6億6,630万3千円	
		借金	-	
町		205万1千円		
仮置場の返還工事やその設計を中心に、仮置場の管理等に係る経費				

山木屋地区復興拠点（とんやの郷）管理費		継続		
	担当課	原子力災害対策課		
	事業費	3,708万9千円		
	財源	補助	1,031万5千円	
		その他	1,006万7千円	
町		1,670万7千円		
「とんやの郷」の運営やイベントの実施				


※「おきがるマルシェ」毎月第1日曜日 11:00～絶賛開催中！


ふくしま森林再生事業		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	3,537万5千円		
	財源	補助	3,229万5千円	
		借金	-	
町		308万円		
森林の活性化のための計画策定や森林整備などを実施。				


農業体験交流事業		新規		
	担当課	農林振興課		
	事業費	118万9千円		
	財源	補助	59万4千円	
		その他	-	
町		59万5千円		
東京の江東区民まつりへ参加し町の農作物のPRを行う。				

川俣の移住・定住施策 在住者と移住者が手を取り合って



移住・定住促進事業（福島再生加速化交付金）		拡充		
	担当課	政策推進課		
	事業費	1億3,418万3千円		
	財源	補助	1億49万6千円	
		その他	-	
町		3,368万7千円		
移住定住センターによる移住希望者の相談窓口の設置、体験農園の整備など				

地域おこし協力隊設置事業費		継続		
	担当課	政策推進課		
	事業費	2,324万8千円		
	財源	補助	-	
		その他	-	
町		2,324万8千円		
地域おこし協力隊の募集や受け入れ態勢の構築を行う。				

定住・二地域居住体験施設整備事業費		継続		
	担当課	政策推進課		
	事業費	57万2千円		
	財源	補助	-	
		その他	7万2千円	
町		50万円		
体験施設の管理費など（飯坂地区）				

産業、 商工業の活性

農業から商業、モノづくりまで多様な方面から産業の振興に努めると同時に、新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けた事業者の支援を継続的に実施します。



プレミアム商品券の発行		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	2,500万円	
	財源	補助	2,000万円
		その他	—
町		500万円	
商業振興のため、プレミアム商品券の発行を補助			

新型コロナウイルス事業者支援一時金		継続	
	担当課	政策推進課 保健福祉課	
	事業費	5,830万円	
	財源	補助	4,664万円
		その他	—
町		1,166万円	
新型コロナにより影響を受けた事業者に一時金を支給			

モノづくり活性化事業費		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	314万8千円	
	財源	補助	—
		その他	251万8千円
町		63万円	
モノづくり企業の活性化を目指した事業の実施			

中小企業対策費		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	1億422万9千円	
	財源	補助	—
		その他	1億1千円
町		422万8千円	
中小企業への経営合理化支援の実施。金融機関への預託金の準備			

農業災害対策事業		拡充	
	担当課	農林振興課	
	事業費	33万3千円	
	財源	補助	13万3千円
		その他	—
町		20万円	
自然災害や市場価格の低下による収入減対策保険の一部を補助。今年は補助率アップの20%補助			

ふるさとづくり寄附金謝礼事業		継続	
	担当課	財政課	
	事業費	1,500万円	
	財源	補助	—
		その他	—
町		1,500万円	
全国からのふるさと納税（寄附金）に対して、町の特産品の返礼品を贈呈。写真は2年連続出荷数No.1「シャモ鍋セット」			

観光資源の運営

川俣の自然や文化など特徴を生かした観光資源の運営を行っています。今後はこれらの資源を連携しあい、情報発信をしていきます。



花塚の里・峠の森自然公園管理費		継続	
	担当課	農林振興課	
	事業費	668万円	
	財源	補助	—
		その他	1千円
		町	667万9千円
ソロキャンパーに静かな人気を誇る峠の森や花塚の里の管理費			

コスキン・エン・ハポンの開催		継続	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	487万7千円	
	財源	補助	61万6千円
		その他	—
		町	426万1千円
今年のコスキンは、現在開催方法について検討中です。詳しくは広報やHPでお知らせします。			

かわまたまるごと体験ツアー		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	482万5千円	
	財源	補助	—
		その他	386万円
		町	96万5千円
体験・食事・送迎を一体的に楽しむツアーを実施。かわまたを知ってもらう機会を提供する。			

織物展示館・からりこ館の運営		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	1,118万6千円	
	財源	補助	104万円
		その他	—
		町	1,014万6千円
施設の運営や企画展、体験教室の実施。6月26日まで企画展「かわまたシルクと喜多方日中線しだれ桜染め」開催中			


おじまふるさと交流館事業費		継続	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	1,336万5千円	
	財源	補助	5万3千円
		その他	396万7千円
		町	934万5千円
食事がおいしくて雰囲気がいいと人気のおじまふるさと交流館の運営費			

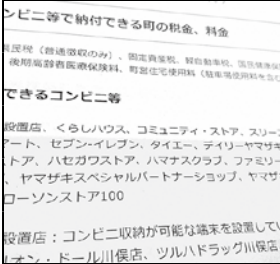
羽山の森美術館事業費		継続	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	640万1千円	
	財源	補助	736万円
		その他	—
		町	640万1千円
収蔵品の管理や企画展の実施など。展示のセンスが素晴らしいと好評です。			


くらし


町民の暮らしに欠かせない事業を継続的に実施しています。





塵芥収集費（ごみ収集）事業費		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	9,490万6千円		
	財源	補助	—	
		その他	92万5千円	
		町	9,398万1千円	
一般廃棄物収集運搬業務委託料				

コンビニ収納事業費		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	99万円		
	財源	補助	—	
		借金	—	
		町	99万円	
コンビニ収納取扱事務手数料ほか				

火葬場の運営		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	1,207万2千円		
	財源	補助	9万3千円	
		その他	120万3千円	
		町	1,077万6千円	
町火葬場の運営に係る経費、修繕料など				


有害鳥獣の駆除		継続		
	担当課	農林振興課		
	事業費	3,459万9千円		
	財源	補助	1,240万円	
		その他	—	
		町	2,219万9千円	
農作物への被害を軽減するため捕獲活動の支援を行う。				


公園施設維持費		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	525万9千円		
	財源	補助	—	
		その他	42万7千円	
		町	483万2千円	
中央公園やポケットパークの管理費や修繕など				

福島県知事選挙・参議院議員選挙費		新規		
	担当課	総務課		
	事業費	2,076万8千円		
	財源	補助	1,859万8千円	
		その他	—	
		町	217万円	
各選挙の執行に係る経費				

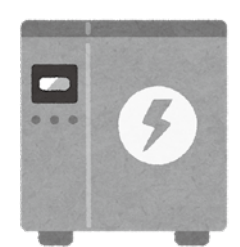
町民のみなさまの住宅 や生活環境への支援

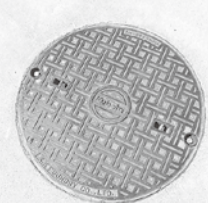
SDGsの概念に基づき、環境やエネルギーに関する取り組みを啓発と連携して一体的に実施しています。


SDGs 啓発事業費		継続		
11 住み続けられるまちづくりを 	担当課	政策推進課		
	事業費	124万6千円		
	財源	補助	24万3千円	
		その他	-	
町		100万3千円		
SDGs やエネルギーについて理解を深めるための講座等をオンラインで開催				


太陽光発電設備の補助 (SDGs 連携事業)		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	216万円		
	財源	補助	-	
		借金	-	
町		216万円		
脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーへの転換を推進するため、住宅用太陽光発電システム設置費用の一部を補助				

ごみ減量化事業 (SDGs 連携事業)		新規		
	担当課	町民税務課		
	事業費	15万円		
	財源	補助	-	
		借金	-	
町		15万円		
生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器購入費の補助金を交付				

蓄電池設置の補助 (SDGs 連携事業)		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	180万円		
	財源	補助	-	
		借金	-	
町		180万円		
脱炭素社会に向けた再生可能エネルギーへの転換を推進するため、家庭用蓄電池設置費用の一部を補助				


浄化槽設置整備事業費 (SDGs 連携事業)		継続		
	担当課	町民税務課		
	事業費	2,320万3千円		
	財源	補助	1,089万6千円	
		借金	-	
町		1,230万7千円		
生活排水による河川の汚れを防止し生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽にした際の浄化槽設置補助金を交付				

井戸掘削事業補助金 (SDGs 連携事業)		拡充		
	担当課	町民税務課		
	事業費	400万円		
	財源	補助	-	
		借金	-	
町		400万円		
井戸の飲料水が安定的に確保できない場合の井戸掘削に対し工事費用の一部を補助。今年度より新設も対象に。				


屋根耐風改修化支援事業費		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	552万円		
	財源	補助	276万円	
		借金	-	
町		276万円		
脱落危険性のある住宅屋根の葺き替えにかかる費用の一部を補助				

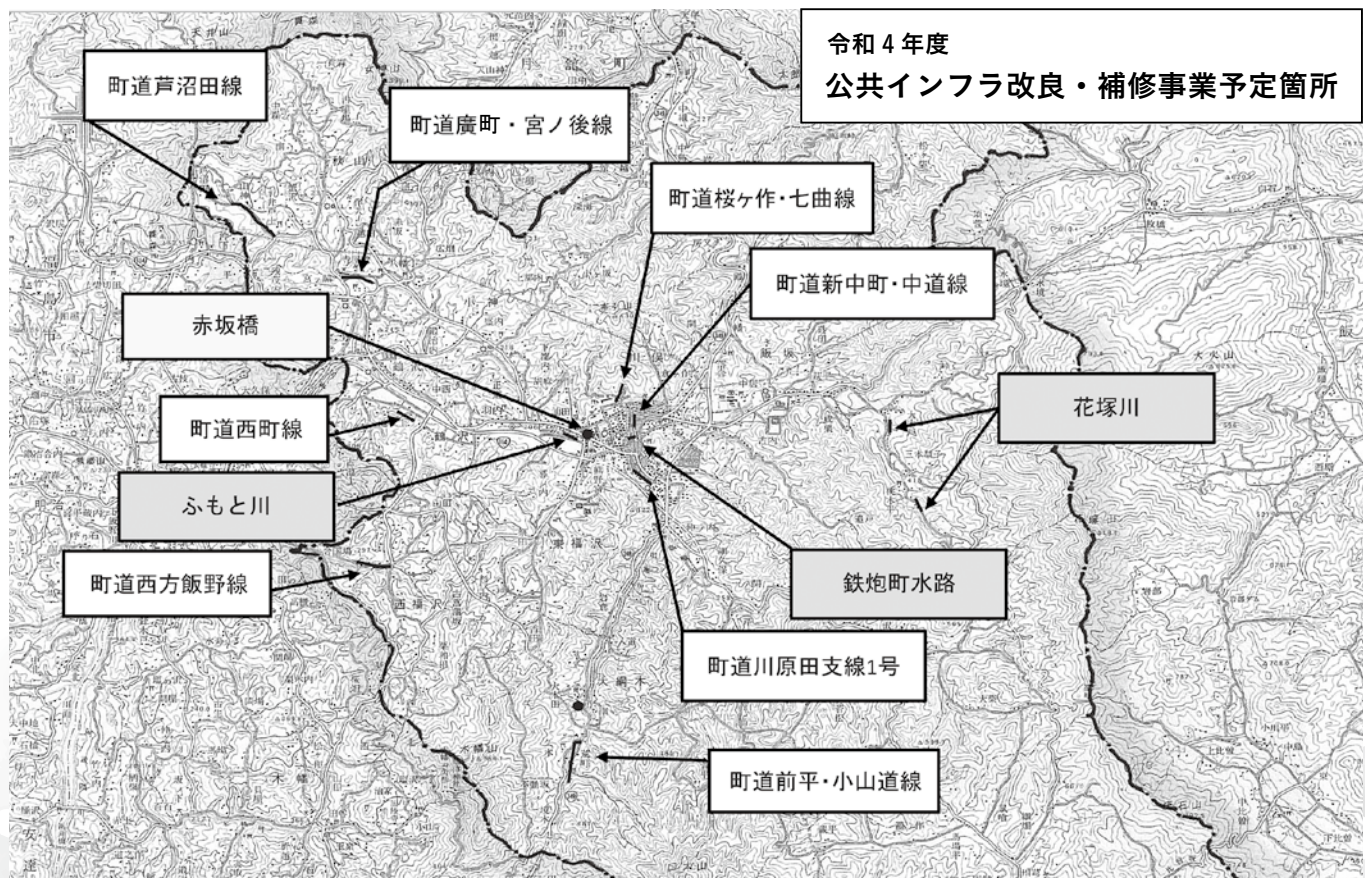
インフラ・防災

新設改良箇所：町道西方飯野線、町道廣町・宮ノ後線、町道西町線、町道新中町・中道線、川原田支線1号、町道前平・小山东線、町道芦沼田線、町道桜ヶ作・七曲線


道路新設改良費		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	1億2155万円		
	財源	補助	2,016万6千円	
		借金	5,710万円	
町		4,428万4千円		
町道の測量設計委託料、道路改良工事費（8路線）				

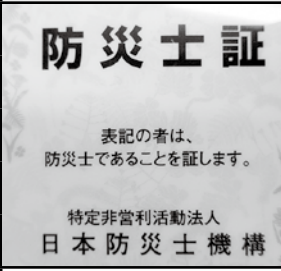
橋りょう長寿命化補修事業費		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	2,200万円		
	財源	補助	1,155万円	
		借金	1,040万円	
町		5万円		
点検により補修の必要となった橋りょうの補修工事（今年度は赤坂橋を実施）				


河川維持補修事業費		継続		
	担当課	建設水道課		
	事業費	3,481万5千円		
	財源	補助	-	
		借金	2,640万円	
町		841万5千円		
災害防止と正常機能の維持を目的とした河川工事（今年度は花塚川などを実施）				



通信・人材・ライフライン・情報とソフト面の強化に努めます


地区公民館への Wi-Fi 設置		新規	
	担当課	政策推進課	
	事業費	756万8千円	
	財源	補助	—
		借金	—
町		756万8千円	
災害時対応等を想定した地区公民館への Wi-Fi 設置			


防災士の設置		新規	
	担当課	総務課	
	事業費	3万7千円	
	財源	補助	—
		その他	—
町		3万7千円	
ソフト面の防災力強化のため、職員の防災士の資格取得を行う			


給水車の購入		新規	
	担当課	総務課	
	事業費	1,650万円	
	財源	補助	1,320万円
		借金	—
町		330万円	
災害等の緊急時の対応として、給水車を購入する			

防災ハザードマップの作成		新規	
	担当課	総務課	
	事業費	594万円	
	財源	補助	297万円
		その他	—
町		297万円	
川俣町防災ハザードマップの改訂版を作成し、全戸配布する			




地方バス路線維持対策		拡充	
	担当課	政策推進課	
	事業費	2,925万4千円	
	財源	補助	—
		借金	—
町		2,925万4千円	
地域交通確保のために、バス会社に運営補助金を交付			

デマンド型乗合タクシー運行費		継続	
	担当課	政策推進課	
	事業費	1,959万1千円	
	財源	補助	304万4千円
		借金	—
町		1,654万7千円	
ふれあいタクシーの運行委託料			

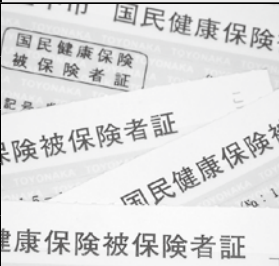
免許返納者のデマンドチケット配付		継続	
	担当課	総務課	
	事業費	130万円	
	財源	補助	—
		借金	—
町		130万円	
免許返納者の交通手段に対する助成としてデマンドチケットを配付			

地域医療・福祉

地域医療確保対策事業費		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	5,000万円		
	財源	補助	-	
		その他	-	
	町	5,000万円		
公的病院である済生会川俣病院に対し、医療体制確立事業等への運営助成				


高齢者のごみ出し安否確認		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	59万9千円		
	財源	補助	-	
		その他	-	
	町	59万9千円		
高齢者世帯等でごみ出しが困難な世帯の支援				

生活困窮者就労準備支援事業費		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	678万3千円		
	財源	補助	375万円	
		借金	-	
	町	303万3千円		
生活困窮相談者の聞き取りにより、最適な支援窓口へつなぐ事業（委託先：川俣町地域包括支援センター）				

国民健康保険事業特別会計繰出金		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	1億5,648万1千円		
	財源	補助	5,852万9千円	
		その他	-	
	町	9,795万2千円		
国民健康保険の安定した運営のための繰出金				

介護保険特別会計繰出金		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	3億29万4千円		
	財源	補助	-	
		その他	-	
	町	3億29万4千円		
一般会計から介護保険特別会計への繰出金				

後期高齢者医療事業費		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	2億4,981万9千円		
	財源	補助	4,035万8千円	
		その他	-	
	町	2億946万1千円		
後期高齢者療養給付費負担金、繰出金ほか				


自立支援給付事業費		継続		
	担当課	保健福祉課		
	事業費	3億4,043万5千円		
	財源	補助	2億5,244万5千円	
		その他	-	
	町	8,799万円		
介護・訓練等給付費、自立支援医療費、舗装具の支給				


町有施設の 再整備

施設の老朽化に伴う再整備や継続的な修繕を、環境や省エネにも配慮しながら行っています。




火葬場整備事業		継続	
	担当課	町民税務課	
	事業費	4,278万円	
	財源	補助	—
		借金	3,480万円
		その他	798万円
今年度は火葬場整備に係る基本設計及び用地購入等を実施			

中学校施設維持管理		継続	
	担当課	学校教育課	
	事業費	4,001万4千円	
	財源	補助	739万4千円
		借金	2,730万円
		町	532万円
川俣中学校の女子トイレの一部改修など			

中央公民館照明リニューアル事業		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	693万円	
	財源	補助	55万円
		借金	630万円
		町	8万円
中央公民館ホールの照明のLED化に向けた実施設計を行う			

羽山の森美術館の修繕		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	920万円	
	財源	補助	736万円
		借金	—
		町	184万円
羽山の森美術館の雨漏り解消のための修繕を実施			

地区公民館の修繕		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	398万1千円	
	財源	補助	—
		借金	—
		町	398万1千円
地区公民館の老朽化に伴う修繕等を実施			

川俣町体育館照明LED化事業		新規	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	507万1千円	
	財源	補助	130万円
		借金	—
		町	377万1千円
体育館の照明を複数年かけてLED化。今年度はサブアリーナのLED化			

子育て支援

子育ての分野においては、経済面から子育ての悩みなど、総合的に支援を行います。



保育所運営費		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	2億2,113万8千円		
	財源	補助	26万7千円	
		その他	3,142万3千円	
		町	1億8,944万8千円	
すみよし保育園運営業務委託料（委託先：川俣町社会福祉協議会）				


入学祝金給付金		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	700万円		
	財源	補助	-	
		借金	700万円	
		町	-	
小中学校入学予定者に祝金1人5万円を支給				


子ども医療助成事業費		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	4,302万4千円		
	財源	補助	2,569万円	
		その他	-	
		町	1,733万4千円	
0～18歳までの社会保険加入者の児童の医療費等の助成				

出産祝金給付金		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	500万円		
	財源	補助	-	
		その他	-	
		町	500万円	
出産祝金の支給（第1子以降）10万円を支給				

子育てほっとステーション事業費		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	175万9千円		
	財源	補助	117万2千円	
		その他	-	
		町	58万7千円	
子育てアドバイザー等を設置、育児相談や情報提供「子育てお話し会」の開催				

子育て支援スタッフ派遣事業費		継続		
	担当課	子育て支援課		
	事業費	61万9千円		
	財源	補助	41万2千円	
		その他	-	
		町	20万7千円	
妊娠、子育てに対し不安を抱える妊婦及び乳幼児の子どもがいる家庭に、地域の子育て経験者が家庭訪問し支援を行う				


わいわいクラブ事業費		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,776万9千円	
	財源	補助	293万2千円
		その他	696万6千円
		町	787万1千円
学童保育（わいわいクラブ）の運営費。4年度は小学校再編による利用者増を見込んで、増額しています。			

子どもの屋内運動場の運営		継続	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,584万2千円	
	財源	補助	1,056万1千円
		その他	150万円
		町	378万1千円
おてひめわくわくランドの運営費。開館時間 午前10:00～午後4:00（毎週木曜日定休）			




町の将来を担うこどもたちへは、外国語教育、コンピュータ教育、芸術、そしてふるさとの自然に親しむ体験など様々なカリキュラムを行っています。

英検受検の支援		継続	
	担当課	学校教育課	
	事業費	56万2千円	
	財源	補助	—
		その他	20万円
		町	36万2千円
英語スキルとモチベーションの向上のため、小学5、6年生と中学1年生の英検受検を実施			

コンピュータ教育費		継続	
	担当課	学校教育課	
	事業費	3,111万5千円	
	財源	補助	142万円
		その他	200万円
		町	2,769万5千円
小中学校でのGIGAスクールの運用、ICT支援員による学習支援など			

ファミリー劇場の開催		継続	
	担当課	生涯学習課	
	事業費	120万円	
	財源	補助	—
		その他	42万円
		町	78万円
未就学の子どもを対象にしたマスクプレイミュージカル「ノントン」の公演を開催する			

森林環境交付金事業		継続	
	担当課	農林振興課	
	事業費	264万4千円	
	財源	補助	264万4千円
		その他	—
		町	—
小学校において、森林を大切にする意識を育むための森林環境学習を実施。			

基礎知識 ～予算とは～



予算って何ですか？

予算とは、町の1年間の収入と支出の計画です。

新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積ります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

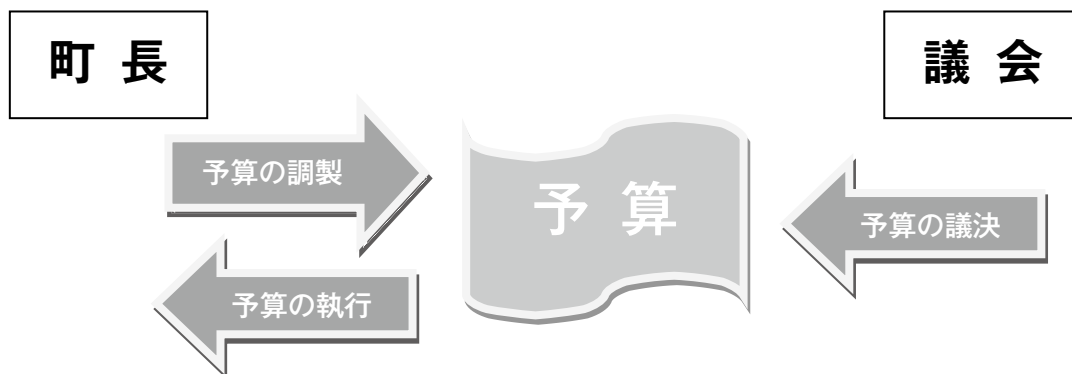
川俣町に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼びます。



予算は誰が決めるの？



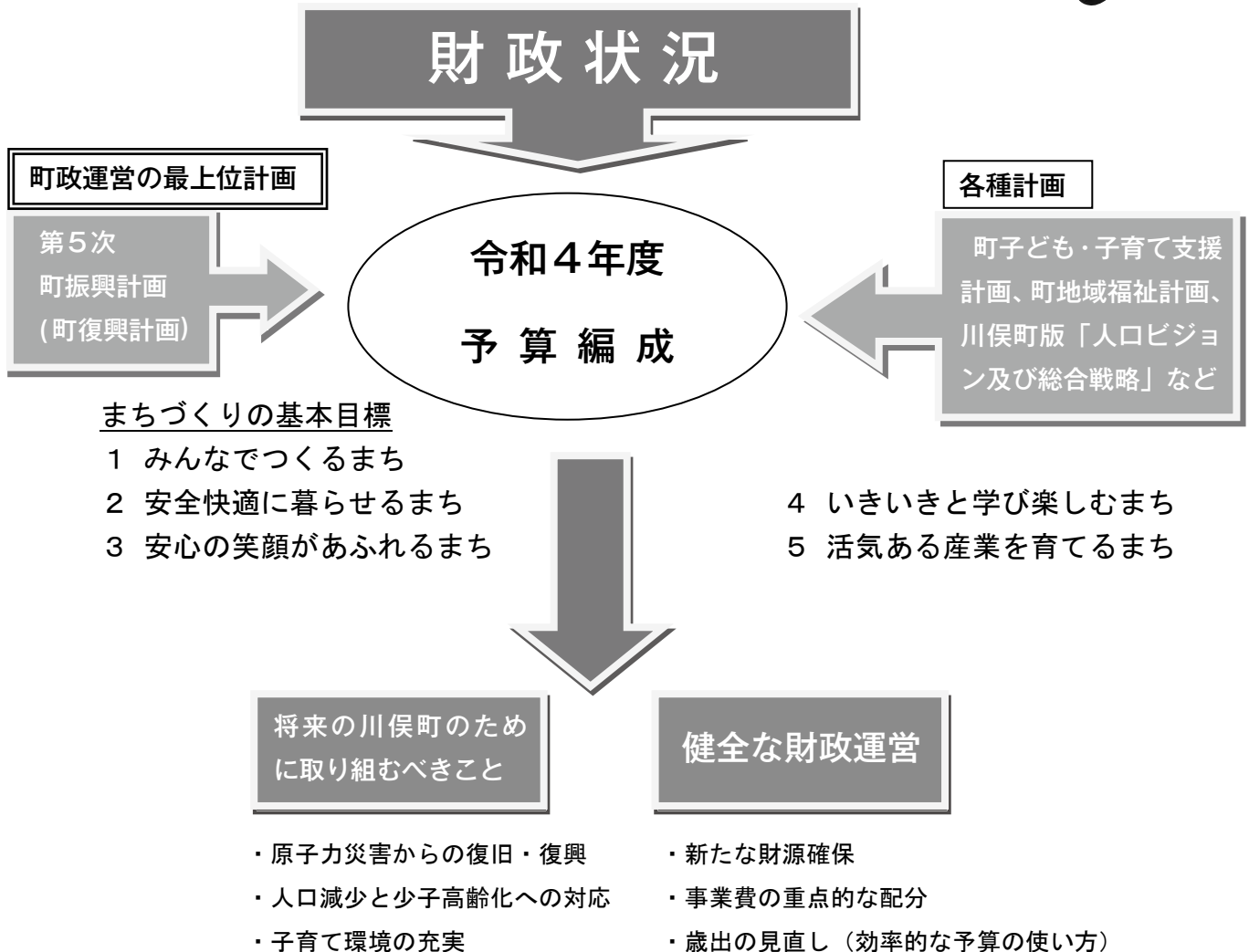
町長は、各担当課で見積った歳入・歳出の案をまとめて、予算案を町議会に提出します。提案された予算案を町議会でいろいろな面から審議し、最終的に議決により予算が決定されます。





予算案ってどうやって作るの？

町長の政策方針を基本に、財政状況や町が定めているさまざまな計画などにそって策定します。限られた財源を有効活用するため、事業実施の優先順位をつけることがとても重要になります。



一度決められた予算は変えられないの？

台風や大雪などの自然災害の影響で当初予算では足りなくなるなど、想定外の経費増加がある場合には、それに対応するため変更の予算案を作り、当初予算と同じように町議会へ提出し、審議のうえ議決により補正予算が決定されます。補正予算は、通常は、6月、9月、12月、3月の定例町議会に提案しますが、定例町議会以外にも、臨時議会での議決により予算を変えることもできます。

令和4年度も、令和4年3月16日深夜に発生した福島県沖を震源とする地震において発生した被害の復旧に係る経費などを4月中に補正予算計上するなど、スピード感を持った予算対応に努めています。



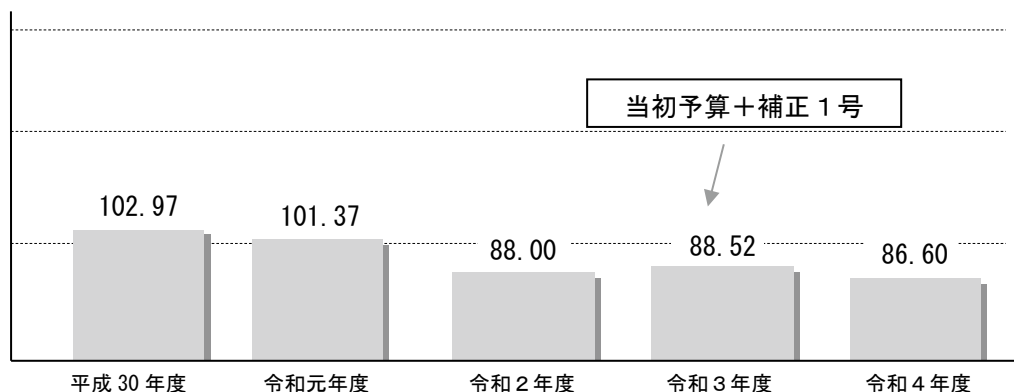
各会計の予算額はどのくらいあるの？

令和4年度の予算は、次の金額を計上しています。

区 分		予算額	前年度対比 (増減額)	事業内容	
一 般 会 計		86億6,000万円	▲1億9,200万円	町民に密接に関連する行政運営の基本的な経費	
特 別 会 計	国民健康 保険特別 会計	事業 勘定	15億8,175万8千円	1,948万4千円	国民健康保険に加入している方の医療費等の給付
		施設 勘定	1,433万3千円	—	山木屋診療所の管理等
	介護保険 特別会計		20億6,967万円	▲896万円	65歳以上の要介護・要支援者の方への保険給付
	後期高齢者医療 特別会計		1億9,707万3千円	▲257万4千円	75歳以上の方への医療費等の給付
	簡易水道事業 特別会計		1,640万7千円	486万9千円	飯坂地区への供給、水源・水道管の整備・維持管理
	奨学資金 特別会計		1,607万円	▲99万3千円	奨学資金の貸与事業
	工業団地造成 事業特別会計		3,256万3千円	1,774万1千円	中山・西部工業団地などの管理費等
	財産区特別会計 (5財産区)		2,830万4千円	3万3千円	小島、飯坂、大綱木、小綱木、山木屋の財産管理
企業 会計	水道事業会計 (収益的収入及び支出)	2億6,697万2千円	343万9千円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理	

一般会計当初予算額の推移

単位：億円





歳入

一般会計にはどのような歳入があるの？

皆さまから納めていただく町税をはじめ、町へ交付される譲与税、交付税、補助金、さらに基金（町の貯金）や銀行などからの借入れ、町有施設の使用料などがあります。

一般会計歳入予算（当初予算）

項目	説明	金額	前年度対比 (増減額)
自主財源	町が自主的に調達できる収入	21億7,238万1千円	5,904万1千円
町税	町に納めていただく税金	12億1,375万1千円	2,342万1千円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益者の皆さんに負担していただくお金	3,608万円	223万6千円
使用料及び手数料	施設利用や証明書を発行する際にいただくお金	8,895万3千円	294万4千円
繰入金	各種基金（預金・運用資金）の取り崩しや特別会計から収入するお金	3億5,749万円	▲1億8,182万6千円
その他	寄附金、町の財産貸付収入、前年度からの繰越金、その他の諸収入金	4億7,610万7千円	2億1,226万6千円
依存財源	国・県からの交付、割り当てられる財源や、町債（借金）	64億8,761万9千円	▲2億5,104万1千円
譲与税・交付金・交付税	皆さまが国に納めた税金の一部を国が町に再配分するお金	32億3,157万円	2億7,844万6千円
国・県支出金	皆さまが国や県に納めた税金の一部（使い道は決められています）	21億3,394万2千円	▲5億9,858万円
町債	国や銀行等からの借入れ（借金）	11億2,210万7千円	6,909万3千円
計		86億6,000万円	▲1億9,200万円

歳 出

【目的別】

どんな分野（目的）に使われるの？

次の項目に分け、目的ごとに使われます。

一般会計歳出予算（目的別）（当初予算）

項 目	説 明	金 額	前年度対比 (増減額)
議会費	議員報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などにかかる経費	1億112万7千円	30万9千円
総務費	除染、庁舎の管理、町税の賦課徴収など役場全般的な仕事の経費	17億4,628万5千円	▲4億8,218万8千円
民生費	児童、高齢者、心身障がい者などの支援や生活保護などにかかる経費	19億369万5千円	6,639万8千円
衛生費	健康増進、公衆衛生、精神衛生及びごみなどの清掃費にかかる経費	5億5,098万5千円	2,131万5千円
農林水産業費	農業、林業の振興、農林業施設の維持管理及び基盤整備にかかる経費	4億2,965万2千円	▲3億9,514万円
商工費	商工業の振興や羽田産業団地、西部工業団地の整備にかかる経費	4億8,834万円	2億6,941万5千円
土木費	道路、河川、公園などの維持管理にかかる経費	3億7,933万8千円	▲1億3,853万3千円
消防費	消防団員の経費及び火災、風水害、地震等の自然災害から町民を守る経費	4億3,493万8千円	9,001万7千円
教育費	学校の維持管理や、生涯学習、体育施設など教育行政にかかる経費	19億267万7千円	3億7,997万3千円
災害復旧費	災害等により被災した施設の復旧にかかる経費	5千円	▲2,974万5千円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金の返済金	7億295万8千円	2,617万9千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	—
計		86億6,000万円	▲1億9,200万円

歳 出

【性質別】

どんな性質の経費に分けられるの？

歳出は、義務的経費や投資的経費などの性質別に分けると違った観点から特徴を見ることができます。

一般会計歳出予算（性質別）

	説 明	金 額	前年度対比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費	25億5,182万1千円	▲618万6千円
人件費	議員や委員報酬、職員の給料などの経費	11億9,345万5千円	▲5,250万5千円
扶助費	児童や高齢者、障がい者支援の経費	6億5,540万8千円	2,014万円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金の返済金	7億295万8千円	2,617万9千円
投資的経費	道路・建物など社会資本整備にかかる経費	21億8,687万1千円	▲2億4,701万2千円
普通建設事業費	認定こども園の施設整備、道路整備等にかかる経費	21億8,686万6千円	▲2億2,017万9千円
災害復旧事業債	災害により被災した施設等の復旧にかかる経費	5千円	▲2,683万3千円
その他の経費		39億2,130万8千円	6,119万8千円
物件費	光熱水費、消耗品、委託料等の経費	17億6,818万9千円	▲9,372万7千円
補助費等	さまざまな団体への補助金や負担金	14億364万1千円	1億2,510万2千円
繰出金	特別会計の収入を補う経費	5億5,058万3千円	2,295万3千円
維持補修費	道路や公共施設の維持・修繕経費	6,050万2千円	690万2千円
貸付金	中小企業経営合理化資金など、町が貸し出す経費	1億円	—
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金	1,839万3千円	▲3万2千円
予備費	緊急の支出に備えたお金	2,000万円	—
計		86億6,000万円	▲1億9,200万円

地方創生と SDGs (持続可能な開発目標)

SDGsとは、Sustainable Development Goals (訳：持続可能な開発目標) の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「誰も置き去りにしない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための、2030年を年限とする17の国際目標のことであります。

SDGsは、世界全体の経済、社会及び環境の3つの側面における持続可能な開発を統合的取り組みとして推進する理念であり、多様かつ複合的な目標の追求は、町においても課題の解決に貢献し、持続可能な「まち」、ひいては地方創生を推進するものです。

行政、民間事業者、町民がSDGsという共通言語を持つことにより、地方創生に向けて一体となって取り組むことが可能となります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



川俣町のわかりやすい予算 令和4年度版

発行年月日 令和4年5月

発行・お問い合わせ先 川俣町財政課

電話 566-2111 (内線 1203)